

元気はつらつ教室の現況について

在宅の高齢者を対象に、閉じこもり予防や介護予防活動の場の提供を目的として実施している「元気はつらつ教室」については事業を見直し、中央区会場については令和9年3月に終了することとしている。

終了に伴う利用者への説明やサービス移行状況等、現時点での状況を報告する。

1 見直し理由

- ・ 利用者の高齢化により、転倒事故等が毎年度、発生している。
- ・ 看護師や機能訓練指導員等の専門職の配置を必要としない緩和型の通所サービスであるため、事故の緊急対応や専門的な視点を取り入れた教室の実施が難しい状況である。
- ・ 長期利用者の中には心身機能が低下しており、介護予防サービスの利用が困難な人もいる。
- ・ 中央区においては、専門職を配置した介護予防通所サービスを提供する民間事業者が193者存在している。

2 中央区会場の終了に伴う調整

中央区会場については令和7年度以降、新規利用者の募集を停止し、利用者には個別に他のサービス等への移行調整を進めている。令和8年2月から3月にかけて、市内中央区内の4か所において教室利用者の家族に向けた説明会を開催した。

(1) 調整経過

年 月	内 容
令和7年 3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受託法人へ事業の見直しについて通知 ・ 中央区会場（全31教室）の利用者に会場スタッフから通知を配付し、終了について周知
3～9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者等から、17件の終了に関する意見や問い合わせ ・ 主な内容：「教室を継続してほしい」「終了する理由を教えてください」
6～10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中央区全教室で、利用者に対して終了理由や終了後のサービス移行等について行政から説明
9～10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者に対して6カ月ごとに実施する個別面談時に、事業の見直し理由と今後のサービス移行について説明 ・ 個別面談の内容により、状況把握及び効果評価（モニタリング）を行う
令和8年 2～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の家族を対象に説明会を開催 (詳細は次ページ参照)

(2) 説明会の開催状況

開催日			開催場所	参加者数	参加者の続柄（人数）
2月18日	水	午後	クリエート浜松	7	子(4)、配偶者(1)、嫁(1)、婿(1)
2月25日	水	夜間	雄踏文化センター	11	子(9)、嫁(2)
3月1日	日	午前	総合産業展示館	23	本人(8)、子(13)、嫁(1)、孫(1)
3月1日	日	午前	浜松卸商センター	19	本人(5)、子(13)、嫁(1)

参加者の反応

【質問】

- ・人数が減っても令和9年末までは事業継続されるのか
- ・教室終了後に移行する通所サービス利用の予約は可能か
- ・質問の多くは、サービス移行に関する内容が多かった

【意見】

- ・終了を反対する意見はなし
- ・教室が終了しても、自主的に集まればよい
- ・集まろうにも移動手段がない

(3) 利用者数の推移

	会場名	利用者数(人)		
		R7.4末に対する割合(%)		
		R7.4末	R7.12末	R8.3末
1	ふれあい交流センター 湖東	41	37	33
		100	90.2	80.0
2	ふれあい交流センター 江之島	77	63	53
		100	81.8	68.8
3	ふれあい交流センター 湖南	124	102	85
		100	82.3	68.6
4	ふれあい交流センター 竜西	73	58	53
		100	79.5	72.6
5	ふれあい交流センター 萩原	72	60	54
		100	83.3	75.0
6	ふれあい交流センター 可美	89	74	68
		100	83.2	76.4
7	ふれあい交流センター 青龍	65	64	48
		100	98.5	73.6
	計	541	458	394
		100	84.7	72.8

3 今後の予定

年 月	内 容
令和8年 5月まで	・現利用者の内、他サービスへの移行困難者の実数把握 ・移行可能なサービス資源の確認
6月	・移行困難者への個別訪問の実施
9月	・サービス移行状況の確認
12月	・サービス移行状況の確認
令和9年 3月	・中央区会場終了

- ・利用者の希望に沿ったサービスへの利用が可能となるよう、移行可能な介護予防サービスの情報を集約し、地区社協によるサロン等、地域の通いの場も含め利用者へ情報提供していく。
- ・利用者が介護予防サービスを引き続き、継続して利用できるよう、今後も個別面談等により移行サービスに関する情報提供や見学を促しながら、丁寧に対応していく。